

# 新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 遠藤家之進正和  
 新潟県山岳協会  
 新潟市南区鷺ノ木新田1049  
 TEL 025-362-5004

事務局 諏訪恵一  
 長岡市高畑町610-10  
 TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集  
 委員会代表 浅野巨寛  
 TEL 0258-52-3998

## 第30回 北信越国体にオーブン参加

国体強化総括責任者 渡邊 正之

(長岡ハイキングクラブ)

石川県が主管して、富山県境に近い金沢市田島町の医王山スポーツセンターで、2日間を渡って第30回北信越国体山岳競技会が開催された。7月25日土曜日、11時から開始式典が始まった。少年女子は12時30分第一体育館2階のアイスレインジョンゾーンに入った。ボルダリング競技開始は13時10分に設定されている。空はどんより、湿気を含んでぐずり気味の天気であった。



女子ボルダリング競技

昨年は成年女子、少年男子、少年女子3種別が、第1日目をリード競技で順位を競った。今年度、石川県山岳協会は大会運営の時間的無駄を少なくするために、25日土曜日成年女子と少年女子はボルダリング競技を行い、少年男子は屋外の壁でリード競技に挑戦するよう工夫した。2日目26日の日曜日は、少年男子が体育館内部でのボルダリング競技になり、成年女子と少年女子は早朝からのリード競技にまわる。第一体育館内部に仮設された2基4面のボルダリング壁は、左側に設置されたコールゾーンを出るとすぐ第1課題に取り付くようになっていた。少年女子は、富山県と福井県不参加とあって出場は3チームである。新潟国体地元開催で新潟県チームには、すでに出場権が与えられている。今年度北信越ブロックからの少年女子国体代表枠はひとつである。石川県と長野県がそのひとつを巡って激突することになった。石川県チームふたりはともに中学生で、クライミングは始めたばかりとか。高校生の長野県チームとは力の差がはつきりしていた。少年女子五十嵐妹子選手

は昨年大分県に出場した。加藤都選手ともに第1課題の壁に立ってホールドの位置を確認して登り始めた。難なく最終ホールドに両手を添えた。続いて加藤選手も五十嵐選手や山田監督の助言を受けながら完登した。第2課題も同様にくらぶに危なげなく登り終えた。6分間の休憩後右側の第3課題と第4課題に移動した。第3課題は難しくて、五十嵐選手が4回目の挑戦で、上のボーンラス1のホールドを確保しただけで、完登できなかった。加藤選手はボーンラス2のみをつかんで終わった。課題4は五十嵐選手一撃完登、加藤選手はボーンラス2で競技を終了した。成年女子片桐麻由子選手と瀧澤倫未選手は、秋田国体からコンビを組んで出場し、大分国体でも連続入賞している。第1課題から第3課題まで一撃完登で、第4課題に挑んだ。ボーンラスホールド2個はつかむが、最終ホールドの確保が出来ない。互いに交互に登りを繰り返すうちにブザー音が終わりを告げた。

少年男子渡辺純選手と伊藤涼選手が組んで北信越国体に出場するのは、今回が2回目となる。今回はリード競技で、長野県と富山県の後塵を押し、今回はリード競技で、壁を登った。今回はせめて横並びになるつもりで大会に臨んだ。1位となった長野県中嶋徹選手は飛び抜けて強く、登り始めて最初の核心部、横長のホールドを各選手が片手で飛びつくような形で確保したのに対して、身体と腕をしなければただでいいとも簡単そうにそのホールドをつかんだ。壁左右に作られた張りぼて2個を越えた2番目の核心部に、下から見上げると茶色の大きなホールドが付いている。真ん中が空洞状に見えているが、これがかみにくいようだ。これを越えて上に行けるかどうかで順位が分かれた。渡辺選手はつかみにくそうにして迷っているうちに落ちてしまった。伊藤選手はこのホールドに達しないで終わった。私の隣で年配の女性3名がリード競技を初観戦していたが、選手がホールドから離れてロープにぶら下がると同時に、瞬間的に目をつむる。顔を背けて、心臓に悪い競技だわと言いつつ、10名全部の選手が登り終えるまで席を立たなかつたから、それなりにリード観戦を楽しんだのではないだろうか。選手はこの大会用に仮設された左側の壁を登った。パネルの表面は塗装が施され



て、いかにも滑りやすそうに見えた。2日目26日になって天気はいつそう下り坂に向かう。競技会場に近づくにつれて、霧が深さを一段と増した。リード壁を下から見上げると、ホールドがかすんでルートが見づらい。個々のホールドが上向きなのか、下向きなのか、横を向いているのか分からないう。少年女子は常設のパターンのある壁にルートが設けられていた。パターンの表面にはざらつきがあって、クライミングシューズの底がよく留まりそうに見えた。少年女子五十嵐妹子選手がひとり完登しそうな勢いで手を伸ばしていった。ホールド2個残して、最終ホールドに達しなかった。加藤郁選手は3分の2を登った辺りで、動きが止まってしまった。そこは壁の傾斜が少し被さった感じの部分で、身体が十分に伸びきっていないため、右手を出しても左手を出しても上のホールドがつかめない。何回かそれを繰り返しているうちに競技が終わった。長野県選手ふたりは、加藤選手が競技を断念した部分でいくらかは手こずったが、もう少し上へと進んだ。ただふたりとも、恐い、恐いと大きな声を出しながら登るので、

見ていた全員の苦笑を誘っていた。壁から下りて選手待機所に戻ったふたりはふるえが止まらないと言ってお互いに抱き合っていたので、恐いという言葉に偽りはなかったらしい。石川県選手ふたりは経験不足とあって、3分の1くらい進んで動きが止まってしまった。でも、規定時間の6分間壁にじっと留まっていた。この忍耐力と体力をほめるべきであろう。来年は絶対にくまくなってこの大会に出てくるであろう。

成年女子のルートは少年男子のそれと同様に、仮設の右壁に作ってあった。前日のポルダリング壁選手の登り具合を見て、ルートの設定が当初の予定よりも少し難しくなっていたとか。チーフルートセッター東秀磯さんは、新潟県の選手ふたりのうちどちらかは完登するんじゃないですかと立ち話で述べていた。瀧澤倫未選手は安定した登りで完登するかに見えたが、最終ホールドを残して終わった。フットホールドが小さいながら2つ、3つあって、それにきちんとつま先が乗れば最後のホールドに手が十分届いたように見えた。そう簡単ではなかったと瀧澤選手本人が言っている。

片桐麻由子選手は、ホールドを4個残して落ちてしまった。リード競技2日間、完登者はひとりも出なかった。完登しそうな選手が3種別に各ひとりずついて、私にはルートグレイド設定が理想的であったように思えた。

最後の競技、少年男子ポルダリングは再び屋内体育館に戻って行われた。競技が始まる頃には雨が土砂降りに変わった。渡辺純選手と伊藤涼選手は、最初の課題は渡辺選手が先に登り、後から登った伊藤選手もあっさりとした。課題2は腰を降ろして両手スタートする。その後、少し離れた上部の大きなホールドに両手で跳び付かなければならない。ホールドに両手が留まらないと、腰からマットに落ちてしまう。渡辺選手は3回目で成功して終了ホールドを両手でつかんだ。伊藤選手は4回目で大きなホールドをつかみはしたが、それから先のホールドをつかまないうちに時間が来てしまった。第3課題はふたりとも問題なしに完登出来た。最後の課題4は、グレード1級とか。渡辺選手はなかなかスタートに近いポーン2のホールドにさえも達しない。5回目でやっとポーン2のホールドをつかんだ。伊藤選手もポーン2だけで終わった。長野中嶋徹選手のみ群を抜いた強さを見せつけて、4個の課題をいずれも1回目ですべて登ってしまった。

大会終了後、選手・監督や大会役員、観客がこれらの課題に挑戦した。クライミングシューズを持ってきていない者は、裸足で登っていた。みんな課題4には苦戦して登り切れない。長野中嶋選手はなぜか裸足であっさり最終ホールドを両手でつかんで見せた。1時から始まる予定の表彰式は、各県選手や役員全員が揃っているのに開始が遅れた。規則上、総合順位が発表・掲示されてから30分たたないといけない。その説明を受けて、規則ならしょうがないなあという顔で全員開式を待った。

新潟県選手団成績

種別	ゼッケン	選手	L-個人	B-個人	L-チーム	B-チーム	総合
成年女子	16-1	片桐 麻由子	3	2	1	1	1
	16-2	瀧澤 倫未	1	2			
少年男子	16-3	渡辺 純	3	4	3	3	3
	16-4	伊藤 涼	6	7			
少年女子	16-5	五十嵐 妹子	1	1	1	1	1
	16-6	加藤 郁	4	2			



## 行事案内

## 第49回 自然保護研修会のご案内

関係各位におかれましては日頃自然保護に対しご理解を賜り厚く感謝申し上げます。秋の研修を次の日程にて開催いたしますので多数参加下さいますようお願い申し上げます。

主催 新潟県山岳協会

主管 新潟県山岳協会自然保護委員会

期日 平成21年10月17日(土)～18日(日)

場所 村上市金屋2802-2 金屋集落開発センター ☎ 0254-62-5134

日程 17日 14:30 受付 15:00 開会・講演 17:30 閉会 16:00 懇親会  
18日 6:00 起床 7:30 移動 8:30 奥胎内ヒュッテ 12:00 解散予定  
○18日は奥胎内ダム工事現場見学の子定

講師 下越森林管理署村上市署業課長 橋 栄一氏

演題 「国有林の自然保護と近年の自然保護監視委員の心得」

講師 村上消防署勤務 小田 幸男氏

演題 「第39、44次南極越冬隊員スライド&講演」

会費 宿泊 ¥3,000 日帰り ¥1,000

持参品 日帰り登山装備・シュラフ・食器・食料(豚汁を用意します)

申し込み先・問合せ先 〒959-3124 村上市金屋2236番地 自然保護委員会 坂野 雅之

申し込み方法 ハガキ又は電話 ☎ 0254-62-3038

締切 10月14日



ブナの幹の熊の爪痕

新潟県山岳協会会長 遠藤家之進正和  
自然保護委員会委員長 本間 一人

## 2009年度 親睦登山のご案内

平素は本会の事業運営に格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、恒例の親睦登山を下記のように計画いたしましたので、ご案内申し上げます。31日は、地元で、永年活動をされておられる桜井昭吉氏から、奥只見・尾瀬の山々についてお話をさせていただきます。翌日は、中ノ岐林道終点からの平ヶ岳を登ります。どうぞ、ご参加ください。

1. 開催日時 平成21年10月31日(土) 午後4時～11月1日(日)

2. 場所

- (1) 講演・宿泊 银山平 伝之助小屋道路向かい側の旧小屋  
(2) 登山 中ノ岐林道終点からの平ヶ岳往復  
(但し、雪の状況・天候により中止あり)

3. スケジュール

10月31日(土) 15:00 受付開始

16:00 講話「奥只見・尾瀬の山々」 講師 桜井昭吉氏 18:00 懇親会 21:00 消灯

11月1日(日) 5:00 伝之助小屋出発 6:45 朝食後登山口出発 10:30 平ヶ岳着 14:00 登山口バス出発  
15:15 伝之助小屋着(解散)

4. 持参品 シュラフ、食糧(31日夕食・1日朝食・昼食持参・嗜好品・飲み物)、登山用具

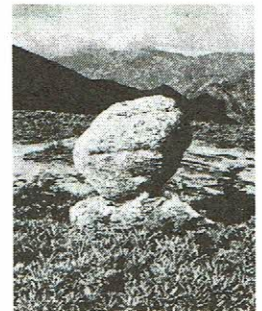
5. 参加費 宿泊まで4,500円 登山参加者1,500円程度(参加人数により変更あり)

6. 申込締切 平成21年10月16日(金) 必着

7. 申込先・問合せ先 〒950-2002 新潟市西区青山1-13-28 遠藤俊一 ☎ 025-265-4181

◆申し込みは各団体へ配布の申し込み用紙にて  
申し込んで下さい。

新潟県山岳協会会長 遠藤家之進正和  
総務委員長 遠藤 俊一



平ヶ岳の玉子石

JTB Your Global Lifestyle Partner

70th Anniversary 1939-2009

JTB関東 法人営業新潟支店

新潟市中央区古町通6-976

TEL:025-224-2201 FAX:025-229-5775

<http://www.jtb.co.jp/shop/houjinniigata/>

※“旅”の最新情報、ご覧になれます。

E-mail:h\_mitani388@jtb.jp

海外・国内旅行、主催・手配

JUMPING TOUR

ユニオン航空サービス

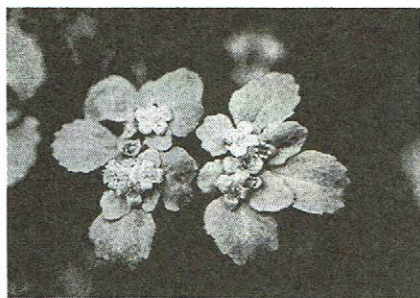
国土交通大臣登録旅行業第553号・IATA代理店(社) 日本旅行業協会会員  
本社:新潟県長岡市南町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

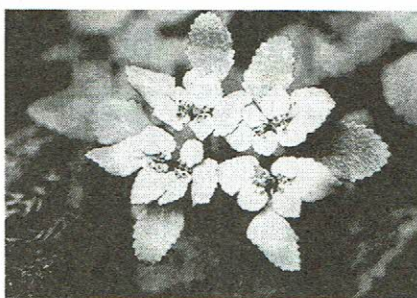
□長岡営業所 〒940-0004 長岡市南町1丁目3番5号 ☎ (0258)33-7123  
-総旅行業取締役主任 倉 晴樹

□新潟営業所 〒950-0916 新潟市天山3丁目2番11号 ☎ (025)246-2266  
-総旅行業取締役主任 中島 豊





ホクリクネコノメ  
ドندان山 4月17日



母種 ネコノメソウ  
毛石山 5月1日

県内山岳の湿った所なら、いたる所に産する。変種名 Fauriei フォーリーで人名。新潟県が北限で北陸地方に多いところからの名で、母種はネコノメソウ Grayanum グレイ (人名)。小さな花の中に雄しべの糸がおさまっているが、本種は長々と花冠より突き出たタイプで御婦人のツケマツゲを思い起こさせる。葉の形もやや鈍形、属名は「黄金色がいっぱい」の意。県内には他にヤマネコノメ、ツルネコノメ等が産する。

越後の山に見られる  
**変種植物**

むささび会 加藤 明文

◆ ネコノメソウ属  
③8 ホクリクネコノメ  
chrysosplenium

賛助会員入会

ご入金のお礼

次の皆様から、ご入会、ご入金を頂きましたので、ご報告させていただきます。

＊8月21日～9月26日現在の

ご入会、ご入金状況です。

杉本 敏

(長岡ハイキングクラブ)

山田 智子(越後山岳会)

(敬称略、順不同)

新潟県山岳協会

会長 遠藤家之進正和

理事長 森 庄一

総務委員長 遠藤 俊一

編集ことうき

▲ナナカマドが赤く色づき空気が澄んで、あきらかに日の暮れるのも早くなった。時の移ろいを一番感じるのも秋ならば、芸術、スポーツに動しむのも秋だ。2000m近い山稜はあでやかな錦繡に彩られているにちがいない。紅葉の便りに誘われて出かける山旅も朝の露や、秋の日暮れをつるべ落として充分留意して出かけた。一日暮れて道遠し「おまけにヘッドランプも忘れたでは、せつかく秋の山から貰った想い出を辛く苦しむ。想い出にはしたくない。

▲折しも新潟国体が開催されている。10月3～5日の日程で山岳競技が行われる上越市の安塚でも準備に大わらわだ。練習に明け暮れ、大会の為準備をすすめてきた選手達の健闘を祈りたい。人工壁で高度なクライミング技術を駆使する選手達だが、将来ぜひ豊かな自然を相手にする原点である登山・クライミングの場に帰ってきて、仲間との信頼や山の素晴らしさを味わって欲しい。

▲季節がら店頭のエノキ茸が安い。早速3～4束買って来て、石突をザクッと切り落とすし、水洗いしながら細かくさばいて、沸かしておいた湯にザルごと入れサット上げる。水分をよく切って井に一杯ほどになる。温かいうちに大さじ2～3杯ほどの味噌に顆粒ダシを入れ、煮切りの酒少しで溶けやすくしておき、井の中でキノコと混ぜ合わせれば出来上がり。甘味は入れないほうが良いようだ。冷蔵庫で半日ほど寝かせれば尚良い。歯切れの良さと、味噌とキノコの素朴な香りが秋の到来を上げるようだ。食欲とお酒の旨さを一層引き立てる、何気ない一品だ。

会報・編集 浅野

登山・ハイキング・クライミング  
テレマーク&山スキー



**パーマーク**  
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)  
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164  
●営業時間/AM10:30～PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス



新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134代  
営業時間/平日10:30am～8:00pm 休日10:30am～7:00pm